

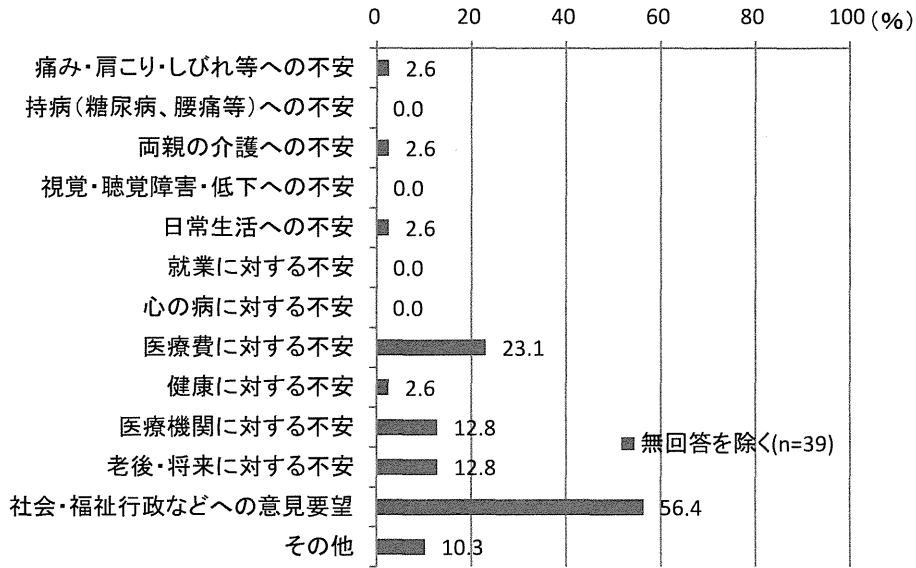
・漁業をしています。魚が安くて油が高いので、漁に出ても赤字の時があります
・亡くなった母が金銭の管理をしてくれていたので、全く心配していない
・現在の仕事の制度内、60歳定年・65歳再雇用
・体力との勝負です。勤め人であれば限界がくれば休めたり、やめられるが自営なので休めばまわらなくなるし保障もない。消費税が上がれば倒産の危機もおとずれるかもという不安がつきまとう
・収入については心配していない
・現在の給与額等を維持していける様な足の負担を軽減できる様な公共の職場など将来生活設計ができる制度があると助かります
・あと11年(60歳まで)働けるか
・手における機能低下に対して、仕事が継続できるか不安を感じる
・サリドマイドに対して雇用ができなくなった時、再就職の必要が出た時、不安である
・サリドマイド影響とは直接関係ではないが、収入への不安は強く感じる
・加齢も加え、両手機能の低下により家族に対して今後介護が必要となった時への不安
・現在は仕事をしていますが、身体が限界にきていて将来的に働けなくなった時の生活が想像できません
・主人の定年後、いしずえの年金がなくなってからの生活
・厚生年金の受給がどうなるか
・看護師をしております、管理職なので収入面でも問題はありません。60歳定年ですが、希望すればその後の継続も可能です
・今の仕事は夜の会議など残業が多い為60歳で退職して、別の仕事をとっておりますが、そこで再就職先があるのかは不安です
・現在は無職なので、今後の生活において多少なりとも収入を得たいと思っています
・不安を挙げたらきりが無い
・主人の事業がうまくいかなくても、私がパートなどできない(雇ってくれる所がない)
・自分で仕事をみつけないといけない。将来設計をする余裕はなし。現実を生きるのだから精一杯である
・定年後(60歳)の不安
・65歳定年になって、それまで働けるかどうかの不安
・子供の成長(8歳と5歳)に伴う、私個人の老化
・贅沢はできないがふたりの生活は営める
・収入は主人の年金と私の給料なので、少し苦しい
・いしずえの長期継続年金が終わった時
・まだまだ長生きをしていたら・・・と思うと不安
・今は介護士職に就いていますが、60歳の定年までこの職業を続けていきたいと思っています。仕事はやりがいもあるし、私の中で生きがいにもなっているので体力の続く限り続けたいです
・結婚が遅かったの事もあり、60歳で長男が18歳・長女が16歳・次女が12歳の計算になります。定年後も再雇用してもらい働けるか、また働ける身体かが不安です。年金もその頃になって支給額や支給開始年齢が引き上がったたりしないだろうかと思えます
・今の事業が軌道に乗ればあまり心配ではない
・いしずえの年金だけでは生活できないので、身体的にいつまで仕事ができるのか、それによって生活費は維持できるのか不安
・今の仕事の定年は55歳までで短くて、60過ぎまで働きたいと会社に言っていますがどうなるかわかりません。もし、55歳までだと厚生年金もらうまで年数があるので本当に不安。60歳まで働ける所を探した方がいいのではと悩んでいます
・今後の収入の見通しなどはわからないが、主人が先になくなったら困ると思います
・本人にはわかっておりません
・収入が少ない仕事の為不満がある。
・最近体力もかなり落ちてきている。
・老後について いしずえの年金もなくなり、主人の厚生年金と私の障害者年金だけで生活していけるか、少し不安です。

<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に記したこと通り、就業した経験に乏しく、仕事をする為の社会的能力、知識や技術が無い為、生活設計の見通しは難しい。今後の収入は障害基礎年金のみである。
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は定年の 60 歳まで保障されているが、老後の貯えが不十分であり、計画的に貯蓄しなければならない。(60 歳以降は働く気はない)
<ul style="list-style-type: none"> ・いしずえ年金があると家族が生活保護申請出来ないと聞いた。国のせいでサリドマイドになったのだから、いしずえ年金は含まないで欲しい。 ・医療費を無料にして欲しい。ハリ・マッサージ料は後日バックアップ出来る様にして欲しい。 ・65 歳以上になっても介護保険にせず、福祉医療で無料にして欲しい。 ・親が亡くなった時の住まいの対応（札幌はアパート、マンションは断られる)
<ul style="list-style-type: none"> ・退職したので今後が不安
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は問題ないが、今後の公的年金減少等を考えると不安。
<ul style="list-style-type: none"> ・疲れやすくなり、定年まで働き続けられるか、体力的に自信がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・今は 7 年程前からやっている、お盆用のお菓子の包装の内職をしています。体が続く限りやっていたらと思っていますが、収入は少なく、主人の稼ぎもあまり多くないので私の障がい者年金を生活費にあてている状態です。なのでもし主人が病気等になり入院とかなると収入がまったくなくなり、私は体が弱いので働くことも出来ず、わずかな年金だけでは生活出来ません。
<ul style="list-style-type: none"> ・まだ不況が続く中で、仕事を続けるのは大変ですが、これから自分の仕事を頑張っていくしかないと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、事務パート職員で就労中だが、年々仕事量は増えるが給与は変わらず、不況の中、転職は年齢的にもましてや障がい者なので望む事は出来ない。定年まで勤務出来る環境ではあるが、身体的にいつまで勤務出来るかという不安がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・正直不安である。どんどん物価が上がって給与が下がるのでいつまで会社にいられるか、また老後の生活費も考えると不安。また母は元気だが、いつか介護が必要になると、生活費がかかるので不安。
<ul style="list-style-type: none"> ・不景気が影響し、障がい者年金等の金額が削られていくのが心配。
<ul style="list-style-type: none"> ・今は考えられない
<ul style="list-style-type: none"> ・自営業で 70～75 歳くらいまでやっていきたいと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・今の手首の状態から考えて仕事が続けられる（今と同じ内容、ペースで）のは、数年程度と考えている。また、日常生活でも家事で不都合なこともある。数年後、以降、家族の収入がある間は生活の心配はないが、医療費や家事補助のサービスを受ける為の費用はどれくらい必要なのかわからず不安である。健常者ならば必要のない費用を家人に負担してもらうのは心苦しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・やはり障害を持つと就職先が難しいです。”見た目もあり”と断られた事も・・・。障害（訴訟）の給付金も私には良くなかった。子供の頃の事で親の意図にまかせられる。今まで何度か自分に渡して欲しいと伝えたが、50 歳になった今も叶わない。もう無いのかな？子供が成長して高校、大学とお金もかかってくるのに、自分で収入を得られない事がもどかしい。せめて自分におりたお金で・・・と思っても、それもうまくいかない。子供が就職するまでは離婚も出来ない。経済力が欲しいです。自分で仕事を始めたい。東京に行ってアナウンス学院に行きたい等、将来に向けてその給付金を使いたいと言ってきたが、聞き入れてはもらえなかった。今は生き方を悔いています。そんな大切なお金は自分自身に渡る様にして欲しかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・立ち仕事が出来ない ・目が悪い ・手が悪い ・今の仕事が 60 歳まで出来るのか ・会社の経営が悪い（給料 10%カット、ボーナス無） ・またリストラがあるかも？という不安 ・両親の面倒までみられるお金にも余裕がない

<ul style="list-style-type: none"> ・現在社会福祉法人で働いています。新会計の導入・移行や、新しいソフト（介護請求等）の導入と、これからの2～3年は毎日忙しい日々を過ごすこととなると思います。今は一人で経理・介護請求をしていますので、今後の目標的なものを言えば、5年後、10年後私の後を任せられる方の育成に努めていきたいと思っています。まだまだ現状ではそんな状態ではないのですが。収入は自己の能力をあげることで評価されていくと思います。働けるだけ頑張っって働いていこうと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことにチャレンジして有意義な一生にしたいと思っている。本当は認定看護師になりたいが、健康診断（聴力）で却下されるのではないかと不安があり、今一步進めない。その他やりたいことがいっぱいありますが、まず一日一日を大切に過ごしたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・3年前の筋力低下、手の痛みがある為、やむなく2年前20年勤めていた会社を退職した。現在も失業中であるがこれからの収入のあてもなく、不安である。社会人としてのモチベーションも落ちている。
<ul style="list-style-type: none"> ・将来、自立して生活していけるか心配です。
<ul style="list-style-type: none"> ・いつまで仕事を続けられるか不安です。気持ちは明日にでも仕事を辞めたいと思っています。将来の生活設計は退職金と、いしずえ年金で実家近くで生活したいと思っています。資金的には非常に厳しい話です。厚生年金の不安もあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症が治らなければ何も始まらないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・早期定年制度等で肩たたきにあつたらと不安。再雇用、紹介等を優先に厚労省にお願いしたい。障がい者に対する無理解な職場も上司も多く、特にパワハラまがいの発言や態度もみられる。雇用率の為だけにおいておかれているようでつらい。厚労省から調査に入って欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・年金、支給の引き上げ ・非課税の引き上げ ・全0の福祉サービスと同じように受給出来る様にしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・家業とは別に将来仕事を探すことになった場合、身体の障害があっても幅広く受け入れてもらえる社会が一つでも多くあれば、サリドマイド被害者として大変助かります。
<ul style="list-style-type: none"> ・収入が入らなくなると将来は生きる事すら考えられません。母も年ですし。結婚もしていませんので！！
<ul style="list-style-type: none"> ・主人の定年退職が54歳（再来年）なので、今後の収入に不安を感じます。私は無職。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の経営している会社はおかげさまで順調です。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在いしずえからの年金しかないので、生活面がとても不安だったりします。
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事も順調で現在管理職で収入も安定しています。将来に対する準備も出来ています。
<ul style="list-style-type: none"> ・後10年で定年となるが、その後の生活設計や健康への不安
<ul style="list-style-type: none"> ・老後の収入が無い為心配している。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は特になし ・老後のことを考えると心配がある。

【医療・保健サービス、福祉・介護サービス等】

図表 275 生活上、困っていること・不安事項等【医療・保健サービス、福祉・介護サービス】；
カテゴリ別集計



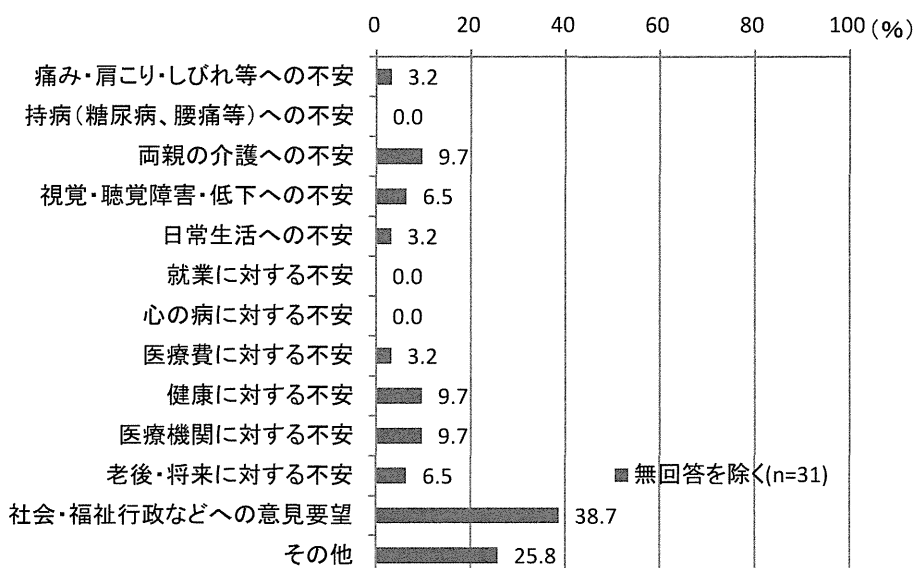
図表 276 生活上、困っていること・不安事項等【医療・保健サービス、福祉・介護サービス】；
自由記述

・近い将来には必要と思っている
・サリドマイドを知っている医師がちゃんといえるのかどうか？60歳前後の医師は知識も豊富で安心して診療していただけるが、若い医師は不安です
・充実した福祉社会が将来はあるのかという心配
・今はあまり困ってはいません
・自分でできる限りは利用したくない
・地元の医者が若い方が多いのでサリドマイドの事を知らないの、初めて行く病院はサリドマイドを説明してから治療が始まるが、はたしてその治療法がよいのか、不安に思いながら受けている。今後どこでもスムーズに受けられる病院があると良いと思います
・とりあえずOK
・国の方から福井県越前市に圧力をかけてでも公立病院を作してほしいです。県内（市内の医師会は儲けばかり考えているようです）
・あと、私は個人的にジェネリック医薬品は反対です。疑問に思うのですが、同じ効果なのに何故大きさが違うのか色々不安があります。本当に臨床試験しているか等です。私は病院でもらう薬は必ず先発と言っています
・一人である時の衣類の着脱がとても時間がかかるため、外出がおっくうになる。ひきこもりになるのが心配
・今後、医療費、介護費用、サービスの利用料負担を免除してもらいたい
・所得収入に対して不安もあり
・サリドマイド（上肢に対する）予防サービス内容も紹介してほしい
・どのような福祉サービスが利用できるのかがわかりません
・日常生活に密着したサービスがあれば良いと思う
・医療費の負担が増えるのでは？
・「いしずえ」で3級の障害をもらっていますが、障害者手帳でどのようなメリットがあるのか教えて下さい
・医療費の無償化などなるといいと思っています
・昨年と同レベルとは言わないが、今後も継続的に人間ドックを受けたい
・とにかく病院へ行って、身体のメンテナンスをしていくつもり
・何が受けられるのかがわからない

<ul style="list-style-type: none"> ・今まではほとんど病院に行った事がないが、最近風邪や頭痛で通院した。これからの事を考えると医療費も心配になる
<ul style="list-style-type: none"> ・将来どのような二次障害が出るのかわからないので、医療費は無料にしていきたい
<ul style="list-style-type: none"> ・必要で希望するサービスはすべて利用させて頂いております。毎月多くの公費を使わせて頂いております
<ul style="list-style-type: none"> ・外出、通院等々の為のサポート体制のなされる社会。例えば通院費の割引、手話通訳の派遣依頼が電話で出来たらと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしで身内は一人もいない為、サービス等は優先的に受けられるよう制度化要。(制度化だけでは不十分で実際に放置されることが考えられる為、実効性の高い運用制度の確立。)
<ul style="list-style-type: none"> ・通院等昇降介助を利用しやすいようにして下さい。薬局は行政ルールを全く知らない。病院と薬局の連携を強化して下さい。 ・サリドマイドは国の無責任でなったんだから、住宅改修は高額許可を出来る様にして下さい。 ・サリマイ者のみ健常者同居でもどの条件にも関わらず、ヘルパー利用可にして下さい。 ・福祉の給付(自助具等)書類もまたくれないし、説明も全くない。 ・入院した時に、院内でもヘルパー利用を許可して欲しい。 ・上肢障害のみの福祉カタログは無いし、役所は「自助具」の言葉も知らない。情報(全国)が欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県日高郡日高町役場の福祉課の対応が悪い、遅い。早くサービスを利用したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・サリドマイド訴訟の為に医療健診で、大変嫌な思いをして以降、可能な限り病院には行っていないが、加齢に伴い将来的には利用しなければならないと思うと本当に気が重い。
<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージに対する費用を補助して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は医療費は補助制度があり無料でとても助かっています。なので制度が変わらずこのまま同じである事を願っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・数年前まではまだまだ先の事だと思っていたが、行政のサービスを考えなければならない時期に来ていると思う。年齢的に長時間の利用になるのは必至であるが、金銭的に(自己負担額等)難しさを感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・一部負担は今のところ無い。年収が超えている為仕方ない。母は今元気だが、介護が必要になる時申し込み方がわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ・サリドマイド胎芽症によるものと思われる症状に対する医療費の補助があれば、我慢せず医療を受ける事が出来る。 ・今後必要になると思われる、家事補助、身体補助も介護保険のサービスとは別のもので受けられるようにして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・年々体力は落ちてゆく中でトレーニングをしています。いろんな情報があると活用出来ると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・これらのサービスは今利用しなくて済んでいるけど、今後はどうなるか不安です。
<ul style="list-style-type: none"> ・無料で何でもやっていただけるサービスでないと生活費にも困る
<ul style="list-style-type: none"> ・3年前右手首のしびれが出始め、3、4か所の整形外科、針、あんまを訪ねたが、骨の変形が親身に対応していただけなかった。今も痛みがあり、生活に大きな支障があるが、適当な病院が見つからず困っている。また医療費もかかり、サリドマイドの二次障害として医療費の無料化を認めて欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・サリドマイドの人がヘルパー等必要な時にすぐサービスを受けられるようにして下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の状況で、助けていただけるサービスがあるんですか？
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉は受けたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分は特に必要を感じておりませんが、重度の障害をお持ちの方もおられますので、その方がより良いサービスを受けられるようになる制度改革等があれば協力させて頂きたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・老後が心配である。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は手話通訳が要るだけで充分。 ・老後は今考えるとわからない。

【その他】

図表 277 生活上、困っていること・不安事項等【その他】；カテゴリ別集計



図表 278 生活上、困っていること・不安事項等【その他】；自由記述

・介護サービスについて、本当は困るのはだれか一人が動けなくなって何かをお願いしても、その人だけの分で終わると言うことを改善して欲しいです
・母が動けなくなって掃除・食事をお願いしても父の分なしとか同居している人の分がなしとかは困るなあとは思っています
・年金を減らされる事はやめてほしいです。だんだんとマッサージやハリなどに行けなくなってしまいます。今もらっている年金は医療費で全部なくなってしまうので減らされるとマッサージやハリが受けられなくなる
・昨年ドックを受けましたが今年もできれば同じ病院で受けられたら良いと思っています
・腹が出てきたが心配
・前頁に書いてしまいました。本人には書く読む力が不足しております
・背中や腰に湿布薬を貼る動作や片手でドライヤーを持って髪の毛を乾かすことができない
・個人的なことです、2~3年前アメリカへ旅行に行った時、税関で指紋をとられるのですが(指が不自由でとれず)、英語ができなくて戸惑ったのでスムーズに対応できる方法を教えて下さい
・この様な調査を定期的に行ってもらいたい(その時々によって状況が変化すると思うので)
・夫婦ふたりなので健康に気を付けていきたい
・サリドマイド被害によるもの？人として、漠然とした不安の毎日です
・これは誰しもが思う事ですが、子供の健康と成長です
・加齢に伴い、様々な健康上のトラブルがあったり、経済的精神的な悩みもあるが、私は障害の程度も非常に軽く、健常者と全く変わらない生活を送っているので、こういう機会にあえて語るような問題はかかえておりません
・私がいしずえの継続年金を受取り始めたのは38歳。それまでの年金は親に無断で使われました。20歳の時本人宛に支給して頂きたかった
・自然災害等で被害を受けた場合、一人暮らしなので不安である
・病気を持った母をみてくれている弟がいるのですが、生活が不安定で(仕事等)心配のもとです。母の年金で生活している時もあるようです。主人の会社も給料が減ってきているので先行きどうなるのか不安です。
・社会的生活を営んでいけるように基礎的訓練を受けることが出来る、酸素ボンベを背負って受けられるコロニーや施設が設立されるよう希望します。
・本人一人になった時、年金のみで入所出来るようなサリドマイド特別養護老人ホームの施

<p>設が各県に出来ると安心です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・父親が一人暮らしをしているので、体が動かなくなったら介護出来るか不安です。仕事も辞めなくてはならないと思うし、収入が減る事への不安もあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・医者には病氣や命を助ける仕事として教えていない。サリマイを知るべきだ。 ・めまいの検査で足の血圧計がなく検査出来ませんでした（立った時に計れない）テレビで見ましたが足動脈検査は腕と足に付け検査しています。手が短いと計れません。 ・腰コルセットの開発。 ・病院では「サリドマイドを診ない」と態度や言葉で言う。20年以上診てもらっている医師の情報資料集めも必要だと思う。Dr. は「文献があればもっと助かる。」サリドマイドを長年診ている医師がわかれば今後もっとお互い情報が共有出来ると思う。自分が診られないなら、必ず Dr. 紹介をすると法律で決めないと困ると感じた。死にたいと思ったこともある。 ・手の短い人だけの症状と長い人や耳の人と分けて調査して欲しい。 ・私達のように長く診ている Dr. に書いてもらうともっと色々見えてくると思うので強く要望します。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療サービス等の支援は大切だが、サリドマイド児も、福島の子供達も、一生検査やアンケートで更につらい思いをさせるくらいなら、厚生労働省の補助金も使わなくていい様に早い情報開示で被害を最小限にして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回のアンケート調査に回答するうちに、今まで見て見ぬ振りをしてきた、加齢・身体能力の衰え、将来への不安等について真剣に向き合う事が出来た。
<ul style="list-style-type: none"> ・〇を間違えてつけたりしたところがあり、すみませんでした。（わかりにくかったらごめんください）このようなアンケートはありがたいと思います。ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・助けて欲しい！！今から、これから、どうしたらいいのか！？
<ul style="list-style-type: none"> ・サリドマイド胎芽病者の特徴としてよく知られている、上肢、下肢の障害以外にこの調査でかかりやすい疾患などわかれば知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体力的な問題と両親の体力的問題。両親の介護の為に仕事を辞められるのか？将来の不安は大きい。 ・自分一人になった時に本当に一人で生きていけるのか？ ・ここ最近 50 歳を目の前にして体調が急激に悪くなり、今現在も大変な状態です。3月の最初に急に左足の大腿骨が歩けないくらいに痛くなり、腰と大腿骨のMRIを取りましたが特に異常なしと判断され、そうこうしているうちに、左足の裏が痛くまた歩けない状態になり、それもレントゲンでは特に異常が見つからず、MRI をとり炎症が見つかり、足の裏にステロイド系の注射を月に1回くらいしています。まだ痛みは治まっていません。4月の中頃に夜から一晩吐きまくり、いつもなら吐いても次の日には寝たら治まっていて仕事に行けるのですが、その日は朝立つ事すらできず、京都の府立大学附属病院に救急外来で診て頂き、そこで「眼球が回っています。耳鼻科を次回から受診して下さい！」と言われ耳鼻科に行きましたが、やはり特殊な目の回り方で、めまい専門外来に行っても中々理解されず、先生も難しいと悩んでおられます。耳鼻科でMRI や CT もとり、やはり三半規管が異常だという事が分かり、今回は三半規管の検査をします。三半規管の1本が普通の人より太いみたいで、その為眼球が常に回っているようです。普通の人なら歩けない状態のようですが、私の場合は多分小さい頃からそれで生活しているので歩いているみたいです。4月から月1回のペースでめまい専門外来に通っています。あと、一週間前くらいから朝起きたら腰が曲がらずトイレをしても後始末が出来ない状態で困っています。何故特に何かをしたわけではないのにこんな事が次から次へと起こるのでしょうか？ちゃんと診て頂ける先生にお会いしたいです。特にサリドマイドの人は血管が細いと言われていますが、私の場合寝ている時、特に冬に多いのですが、両手（腕から手の先まで）が氷のように冷たくなり目が覚めます。お湯で温めてからまた寝ています。そんな事が1ヶ月の内何回か起こります。それはどこに診てもらえばいいのでしょうか？この前総合内科に行き、その後神経内科に紹介されて行きましたが、入院してそれが起こった時に調べないと分からないとか、やはり皮膚科に行ってくださいとか言われ、なんかおかしいと思います。私としてはサリドマイドと何か関係があると思っているのですが、寝ている間のことなので怖いと思っています。あと私の場合はにおいが感じられません。良いにおいも臭いにおいも分かりません。ただわさびとかはつかのにおいだけは感じられますが・・・。それも

<p>どこかの異常だと思えます。あと尿漏れもひどく薬もあまり効きません。サリドマイドの特徴のひとつである尾てい骨に穴があいているのと関係があるのでしょうか？トイレに行きたくなると、もう我慢出来ずトイレの前で漏らしてしまうのが毎回です。いしずえに検査結果のCTやMRIを送りました。脳外科専門の先生にも頭痛外来で診て頂きましたが、一人の先生には右目奥あたりが非常に血管が細いと言われ、それも造影剤を入れてCTをとりましたが、もう一人の先生は特に問題がないと言われていました。同じ脳外科専門の先生でもMRIのうつり方で問題があるとかないとか言われ、それもどうしたらいいのか？次回問題があるという先生の所に9月1日診察の予約はとりました。2年前のMRIと比べてまたより血管が細くなっているという判断で造影剤を入れてCTをとりました。今現在起こっている事を色々書かせて頂きました。いしずえから先生の所に検査の結果が届くと思いますので宜しくお願いします。本当はそちらの病院で検査を早く受けたいのですが、来年まで待つしかないのでしょうかね？</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・サリドマイド障がい者も加齢に伴い、これまでには考えられなかったトラブルが多く起きている。これから加齢も進み、老齢期となる不安は大きい。肉体的にも精神的にもしんどい仲間が多いが、その人達にこのアンケートを全部記入するには大変でないか（質問事項の多さ、具体的な文章化）。アンケートも勿論良い事であるが、一人一人の聞き取り調査も実施して頂き、是非実際の生活の現状を見てまとめて頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・私はサリドマイド認定を受ける時に股関節のレントゲン等を提出しましたが、認定は手だけでした。今私の生活の中で脚の問題が大きく占めています。なぜ日本のサリドマイド障害の方に下肢障害の認定が少ないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査は母（貞子）が代筆しました。「いしずえ」には本当に申し訳なく、母としては本望ではありません。「いしずえ」とは今のところ音信不通でございます。中学生までは「子供たちの未来をひらく父母会」に毎回参加していました。診察も特に木田先生にはお世話いただいております。ここまでの学校や、周辺でのいじめや、本人の本来の性格も含めて人間嫌いになってしまったようです。私が小さい頃から引っ張りまわした結果だと今後悔しております。自由にのびのびと育てた方が良かった気がします。この回答は私の目から見たもので本人は色々隠しもっていることと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・今年も二度入退院してしまいまして、アンケートが遅くなってごめんなさい。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供がいないので、やはり夫婦とも今後の生活に対しては、どちらかがコケてしまったら（倒れてしまったら）困るなというのは考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・返信が遅くなり申し訳ありませんでした。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分は右手親指のみに明らかな障害があります。その他は肩の可動域の左右の違い、左足の膝に若干の動き悪さがありますが、サリドマイドに起因するものなのかどうかわかりません。今後、一般の方と比べ外科的、内科的に何か問題が出やすいのかどうか知りたいと思います。

III. 国民生活基礎調査とアンケート調査結果の比較

- 国民生活基礎調査は、厚生労働省が1986年から毎年、全国で実施している調査で、世帯の構成、国民の保健、医療、福祉、年金、就業、所得などの国民生活の基礎的な事項を調査し、今後の厚生労働行政の企画、立案、運営のための基礎資料を得るために実施しているものである。
- ここでは、サリドマイド胎芽病者と同世代の生活実態を把握した「2010年度国民生活基礎調査」（50～54歳 n=7,659）の結果と本アンケート調査結果との比較を行った。これにより、サリドマイド胎芽病者の固有の生活課題と年齢的な加齢に伴う同世代共通の課題との異同を分析することを企図したものである。

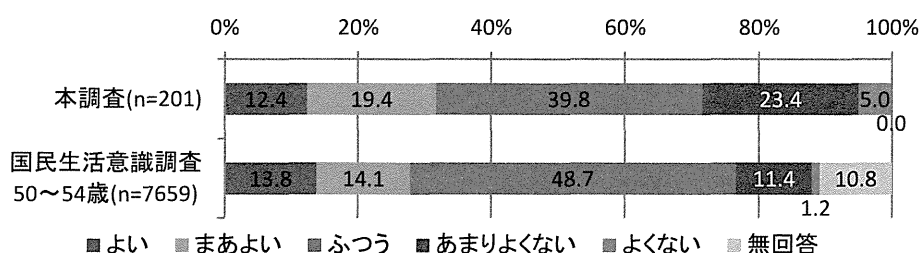
1. 日常生活の状況

- サリドマイド胎芽病者は同世代と比べて、現在の健康状態が良好でない。また、健康上の問題が日常生活の様々な場面に影響を与えていることがうかがえる。

(1) 現在の健康状態

- 現在の健康状態が「あまりよくない」「よくない」をあわせた比率は、本調査 28.4%が国民生活基礎調査 12.6%を上回っている。

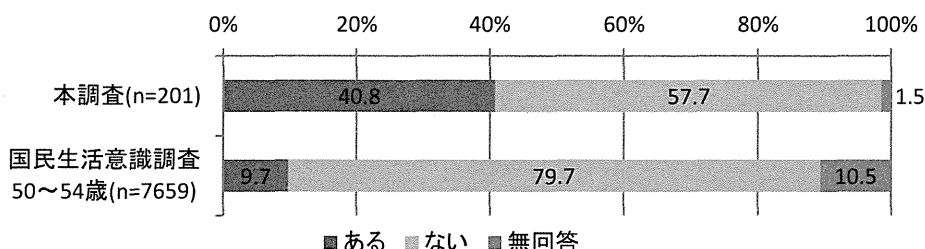
図表 279 健康状態；国民生活基礎調査 50～54歳との比較



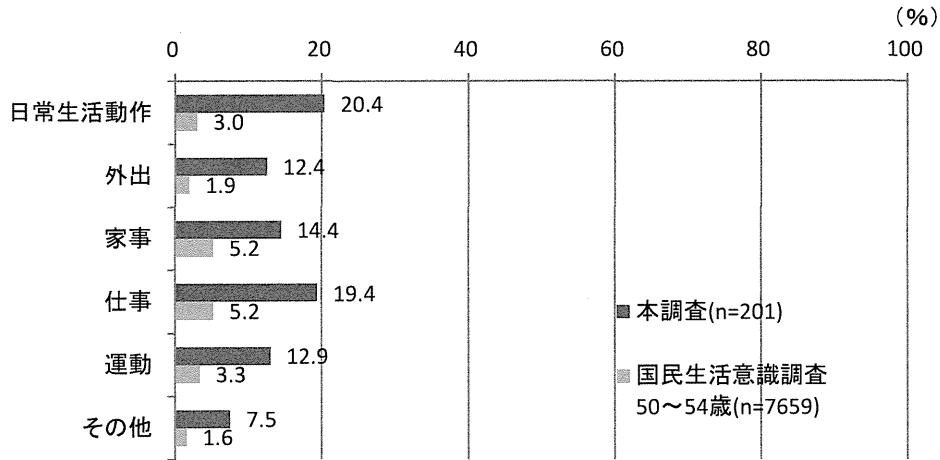
(2) 健康上の問題の日常生活への影響

- 健康上の問題の日常生活への影響が「ある」とした比率は、本調査 40.8%が国民生活基礎調査 9.7%を上回っている。
- また、健康上の問題が日常生活に影響する具体的な内容を見ると、いずれの項目でも本調査が国民生活基礎調査を上回っている。

図表 280 日常生活への影響有無；国民生活基礎調査 50～54歳との比較



図表 281 日常生活への影響詳細；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）

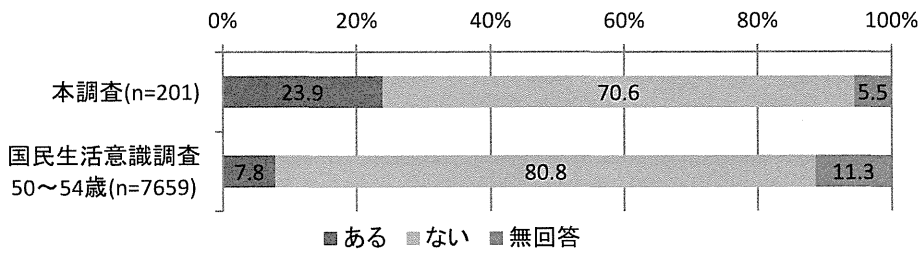


※国民生活基礎調査の家事・仕事は同一選択肢のため同じ数字をみなして記載

①日常生活への影響の原因

○「日常生活への影響がある」と回答した比率は、本調査 23.9%が国民生活基礎調査 7.8%を上回っている。

図表 282 活動への影響有無；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較



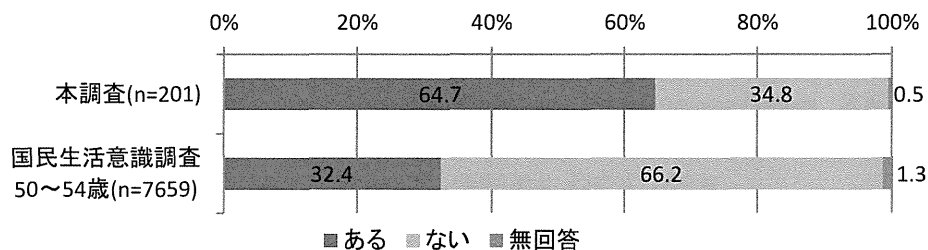
2. 医療・保健サービスの利用状況

- サリドマイド胎芽病者は同世代と比べて、病気やけがなどで具合の悪いところ（自覚症状）の数が多。特に、同世代に比べて、筋骨格系の症状、手足の症状や、「体がだるい」「頭痛」「目のかすみ」「物を見づらい」「きこえにくい」といった症状の比率が高い。
- 自覚症状の多さを反映し、サリドマイド胎芽病者は同世代と比べて、現在通院している傷病の個数も多い。特に、同世代に比べて、「高脂血症」「眼の病気・障害」「耳の病気・障害」「肩こり症」「腰痛症」等の罹患率が高い。
- 健診等の受診状況については、サリドマイド胎芽病者と同世代に顕著な差はみられなかった。

(1) 病気やけがなどの自覚症状

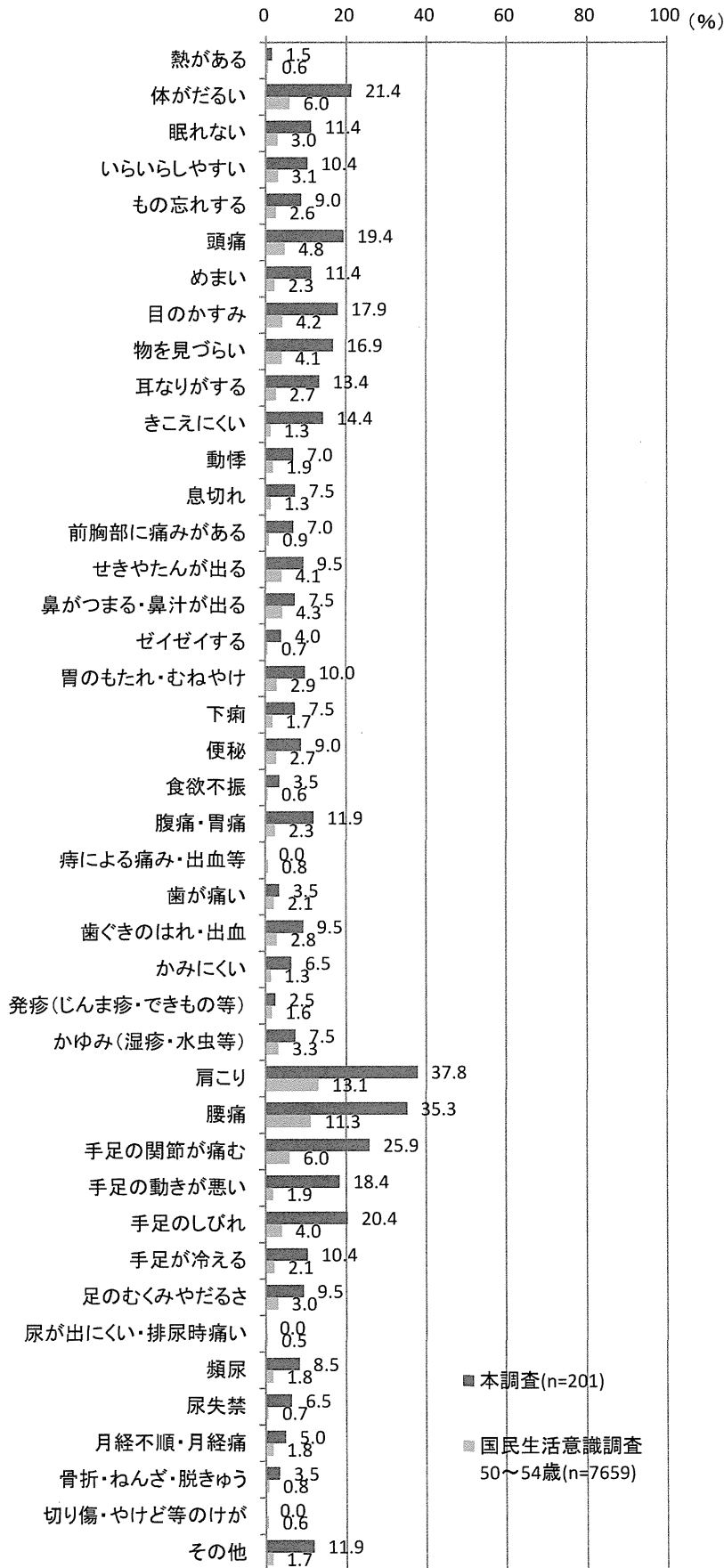
- ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）が「ある」とした比率は、本調査 64.7%が国民生活基礎調査 32.4%を上回っている。
- また、具体的な自覚症状の平均をみると、本調査 7.1 が国民生活基礎調査 3.8 を上回っている。
- さらに、具体的な自覚症状の内容をみると、いずれの項目でも本調査が国民生活基礎調査を上回っている。特に、10 ポイント以上上回っている自覚症状は、「体がだるい」「頭痛」「目のかすみ」「物を見づらい」「きこえにくい」「肩こり」「腰痛」「手足の関節が痛む」「手足の動きが悪い」「手足のしびれ」である。

○
図表 283 ここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）の有無；国民生活基礎調査結果（50～54 歳）との比較



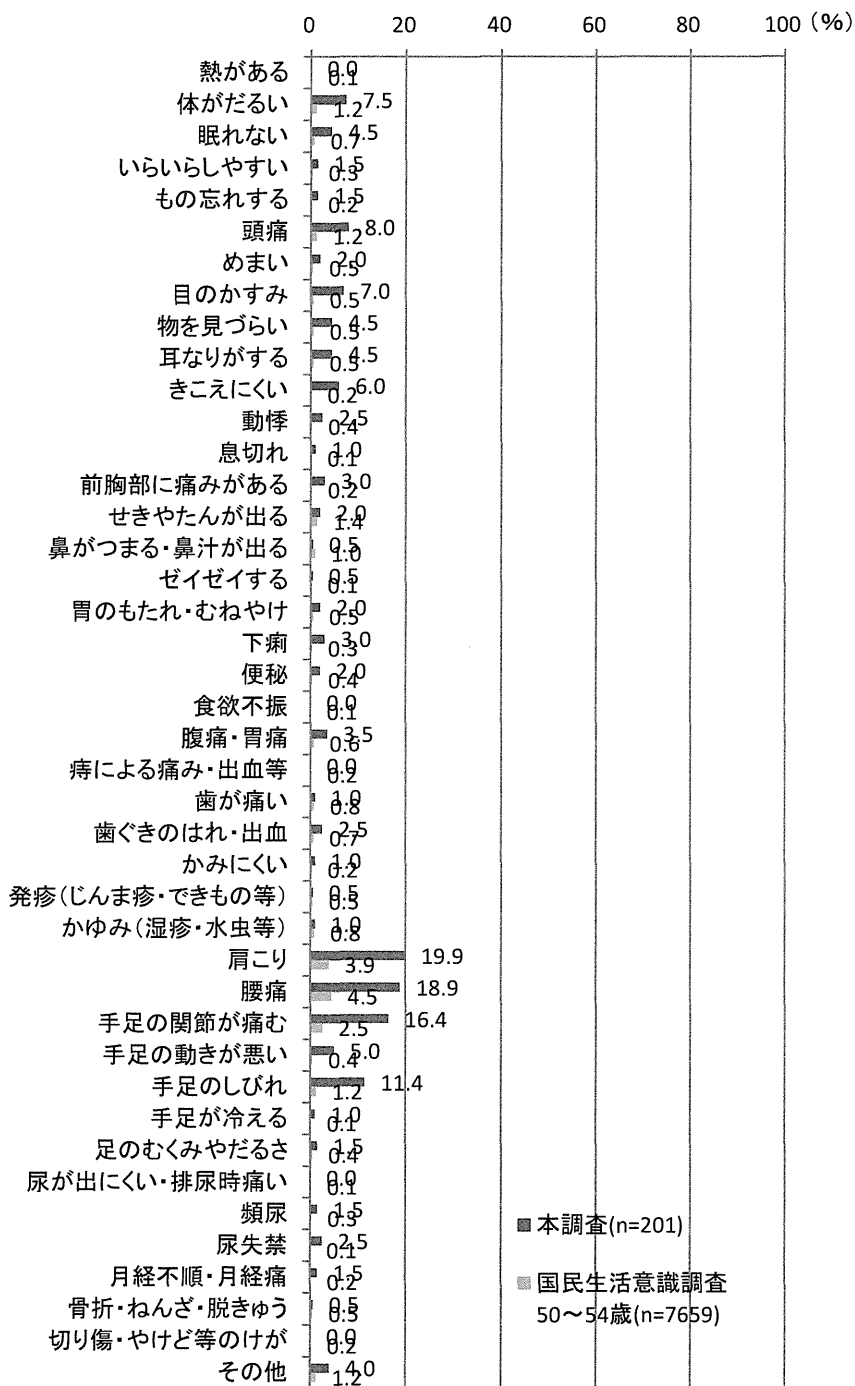
①自覚症状の具体的な症状

図表 284 自覚症状内容；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）



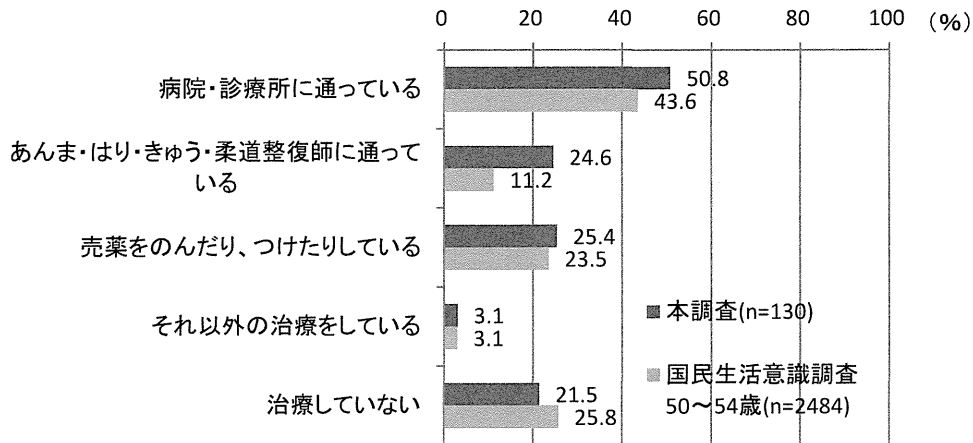
②最も気になる症状

図表 285 最も気になる症状；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）



③気になる症状の治療状況

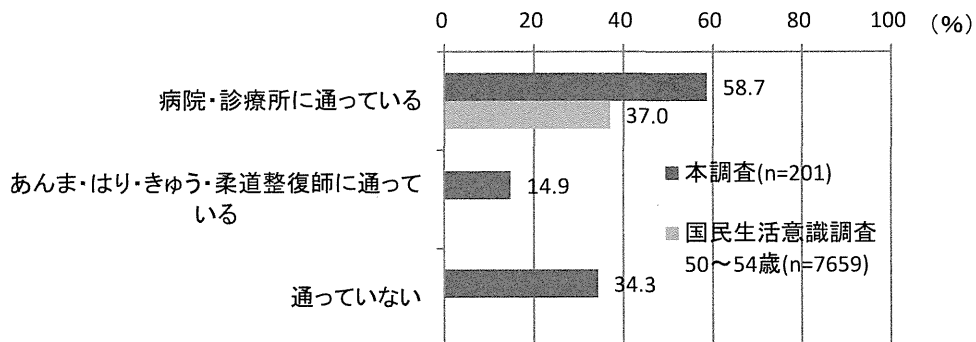
図表 286 気になる症状の治療状況；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）



(2) 傷病による通院状況

○現在通院している傷病の平均をみると、本調査 3.5 が国民生活基礎調査 1.6 を上回っている。
 ○さらに、具体的な通院している傷病の内容をみると、いずれの項目でも本調査が国民生活基礎調査を上回っている。特に、10 ポイント以上上回っている傷病は、「高脂血症」「眼の病気・障害」「耳の病気・障害」「肩こり症」「腰痛症」である。

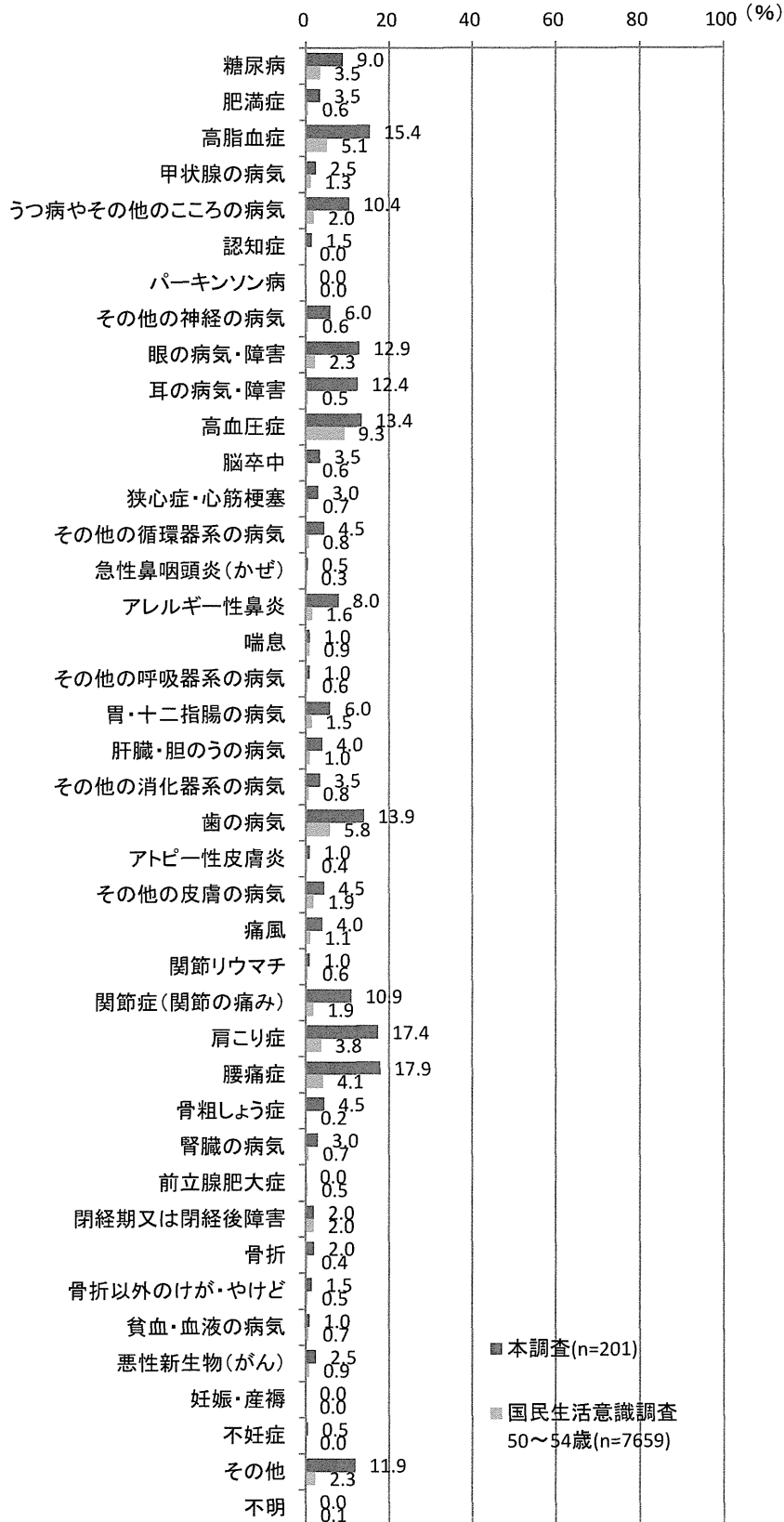
図表 287 通院の有無；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）



※国民生活基礎調査では病院等受診率のみ把握

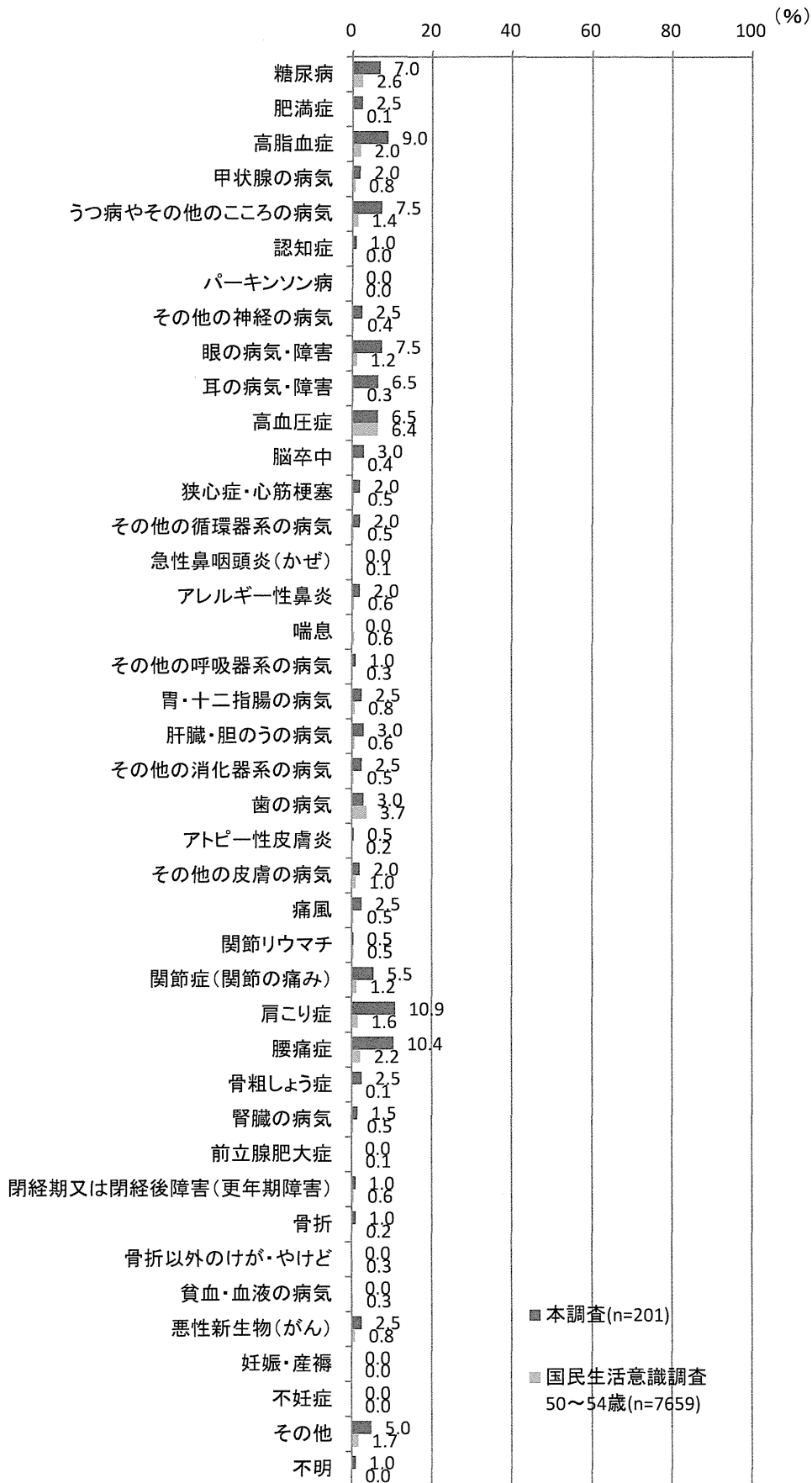
①通院している傷病

図表 288 通院している傷病；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）



③最も気になる傷病

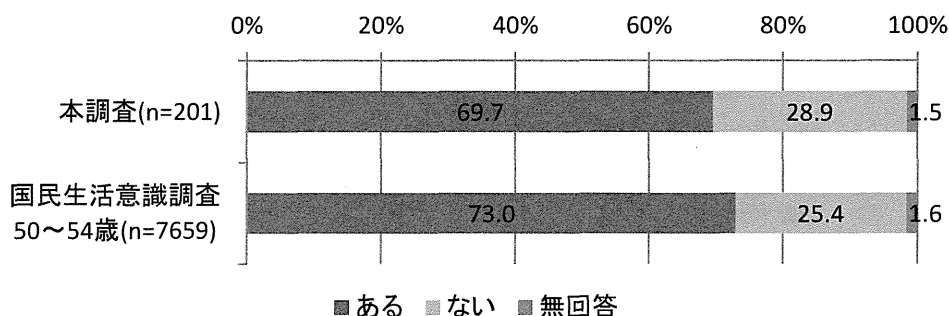
図表 289 最も気になる傷病；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）



(3) 健診等の受診状況

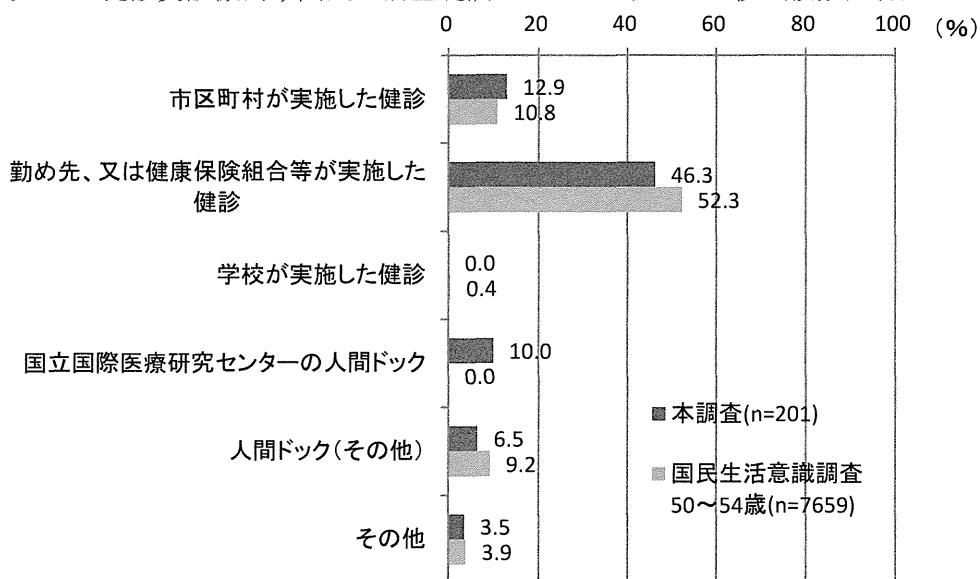
- 健診受診の有無を見ると、本調査 69.7%が国民生活基礎調査 73.0%を下回っている。
- 受診の機会を詳細に見てみると、「勤め先又は健康保健組合が実施した健診」は本調査 46.3%が国民生活基礎調査 52.3%を下回っている。一方、「市区町村が実施した健診」では、本調査 12.9%が国民生活基礎調査 10.8%を下回っている。

図表 290 健診受診有無；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較



①どのような機会に健診を受けたか

図表 291 健診受診機会；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較（複数回答）

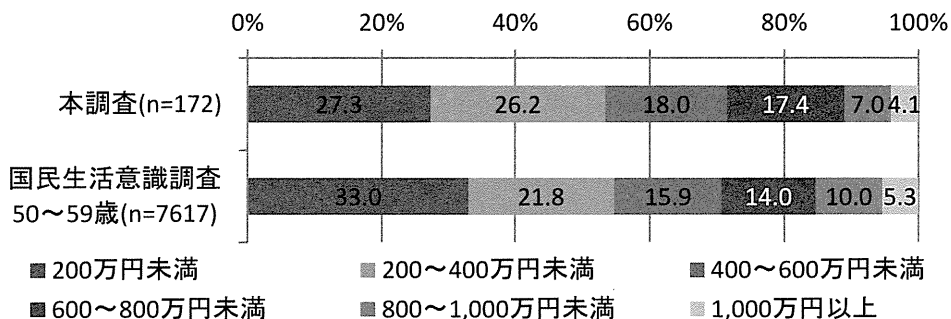


(4) 年間所得状況

- 年間所得額 200 万円未満は、本調査 27.3%が国民生活基礎調査 33.0%と下回っている。
- 「200～400 万円未満」「400～600 万円未満」「600～800 万円未満」では、2～4 ポイント程度本調査が上回っている。

○

図表 292 年間所得額；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較

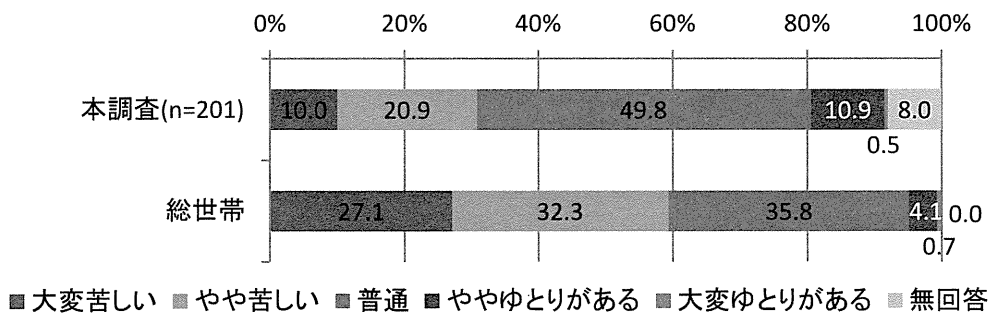


(5) 現在の総合的な暮らしの状況

- 本調査の「大変苦しい」「やや苦しい」が国民生活基礎調査に比して下回っている。一方、「普通」は、本調査のほうが上回っている。

○

図表 293 総合的な暮らし状況；国民生活基礎調査 総世帯との比較



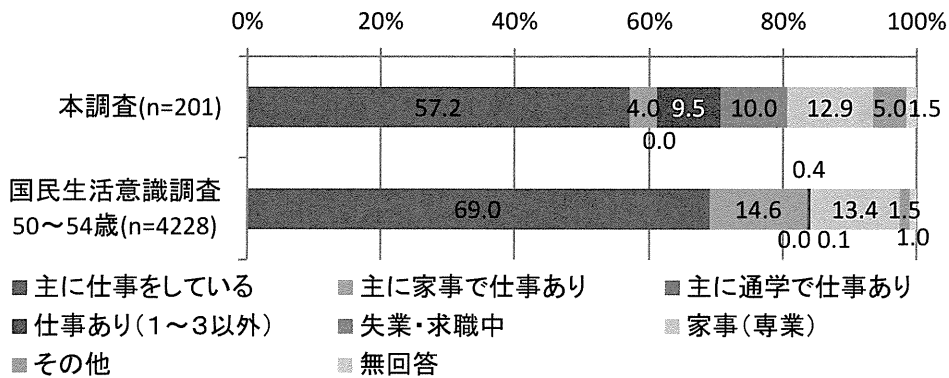
3. 仕事の状況

○「主に仕事をしている」「主に家事で仕事あり」等を含め、何らかの仕事をしている比率は、本調査 70.7%が国民生活基礎調査 84.1%を下回っている。また、「主に仕事をしている」比率も、本調査 57.2%が国民生活基礎調査 69%を下回っている。

○一方、本調査のみで項目設定した「求職・失業中」が 10%であり、同世代とは働き方、労働環境が異なることがうかがえる。

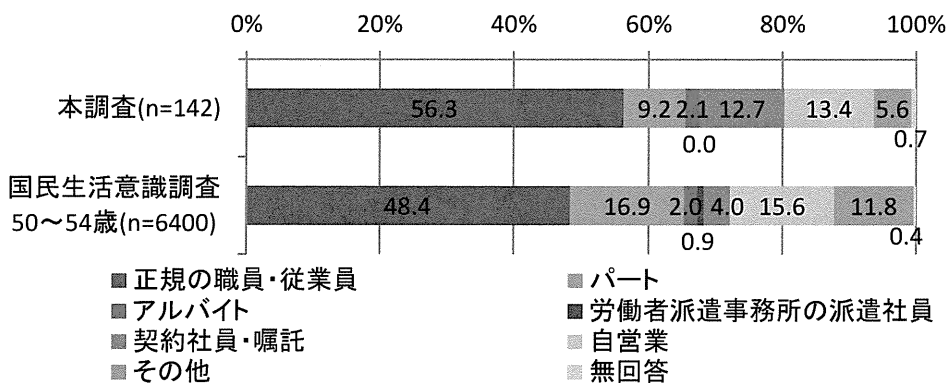
(1) 6 月中の仕事の状況

図表 294 6 月中の仕事の状況；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較



① 主な仕事の就業形態

図表 295 就業形態；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較



4. 生活上の悩みや困っていること

○現在、生活上で悩みやストレスが「ある」と回答した比率は、本調査 78.1%が国民生活基礎調査 53.1%を上回っている。

(1) 生活上の悩みやストレスの状況

図表 296 悩みやストレスの有無；国民生活基礎調査 50～54 歳との比較

